

LED 誘導灯は器具や部品の交換が必要です！

- 誘導灯器具(電池内蔵形)の耐用限度年数は 12 年です (日本照明工業会)
- 電池内蔵器具の本体は 8~10 年、内蔵蓄電池は 4~6 年が適正交換時期です

Q

なぜ点検をする必要があるの？

なぜ部品を交換する必要があるの？

いつ交換すればいいの？

蓄電池の点検はどうすればいいの？

災害が発生したときに動作しないと、避難が遅れ、命に係わる可能性もあるためです。法律でも一定期間ごとに点検することが義務づけられています。

器具の寿命に対し、蓄電池などの消耗品は寿命が短いため、交換が必要になります。

それぞれの部品に寿命の目安があります。下表参照

蓄電池 : 定格時間点検後に充電モニタが緑点減したら交換してください。

誘導灯のランプ : 器具のランプモニタが赤点減したら交換してください。(時間経過で点減します)

点検の方法は3パターンあります。

1. 点検リモコンで自己点検する
2. 器具本体のスイッチを押して自己点検する
3. 電源ブレーカーを落として定格時間放置する

[定格時間]

誘導灯: 一般タイプ: 20分 長時間タイプ: 60分
非常用照明器具: 一般タイプ: 30分 長時間タイプ: 60分

点検の方法はこちら

A

器具耐用年数について

器具本体の耐用年数は標準条件で使用した場合、下記のとおりです。大幅な電力削減につながるLED器具への交換をおすすめします。

器具の種類	適正交換時期	耐用の限度
電池内蔵型	8~10年	12年
電源別置型	8~10年	15年
専用型	8~10年	15年

器具本体交換の目安 **8~10年**

光源の寿命について

- 誘導灯のランプは60000時間が交換の目安です。
- 非常用照明器具併用型は40000時間が交換の目安です。劣化します。
- 非常用照明器具併用型: 常時も非常時も同じ光源が点灯するタイプの非常灯です。

蓄電池寿命について

蓄電池の寿命は4~6年です。新品に見えても中身は確実に劣化しています。

寿命特性の一例

4年目以降容量低下が顕著に!

※専用型とは電池内蔵型器具で、常時点灯・非常時点灯の器具を指します。(一社)日本照明工業会ガイド108-2003

正常な表示板

劣化した表示板の例

交換時期は点検モニターで表示

- 消防設備の点検業務は消防設備士が行い、消防署に点検結果を報告します
- 安全のために耐用年数 12 年以上経過した LED 誘導灯で安全監視回路の差動で消灯する機器もあります (2009~2020 年製)



● 今月のマル得情報 **テナントビルでは年 2 回の消防設備の点検が義務付けられています** 商品名 LED 誘導灯